

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	長野広域連合					
代表者名	氏名	加藤久雄	役職名	広域連合長		
主たる事務所の所在地	長野市松岡二丁目42番1号					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	98 地方公務				
主たる事業の概要	一般廃棄物の処理、老人福祉施設の運営					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,800	2,036			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,960	4,500			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	34,332	37,798			
自動車の台数	台	48				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	74				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度		計画期間	2020 年度～	2022 年度
報告対象年度		年度				

3 計画書（報告書）の公表方法等

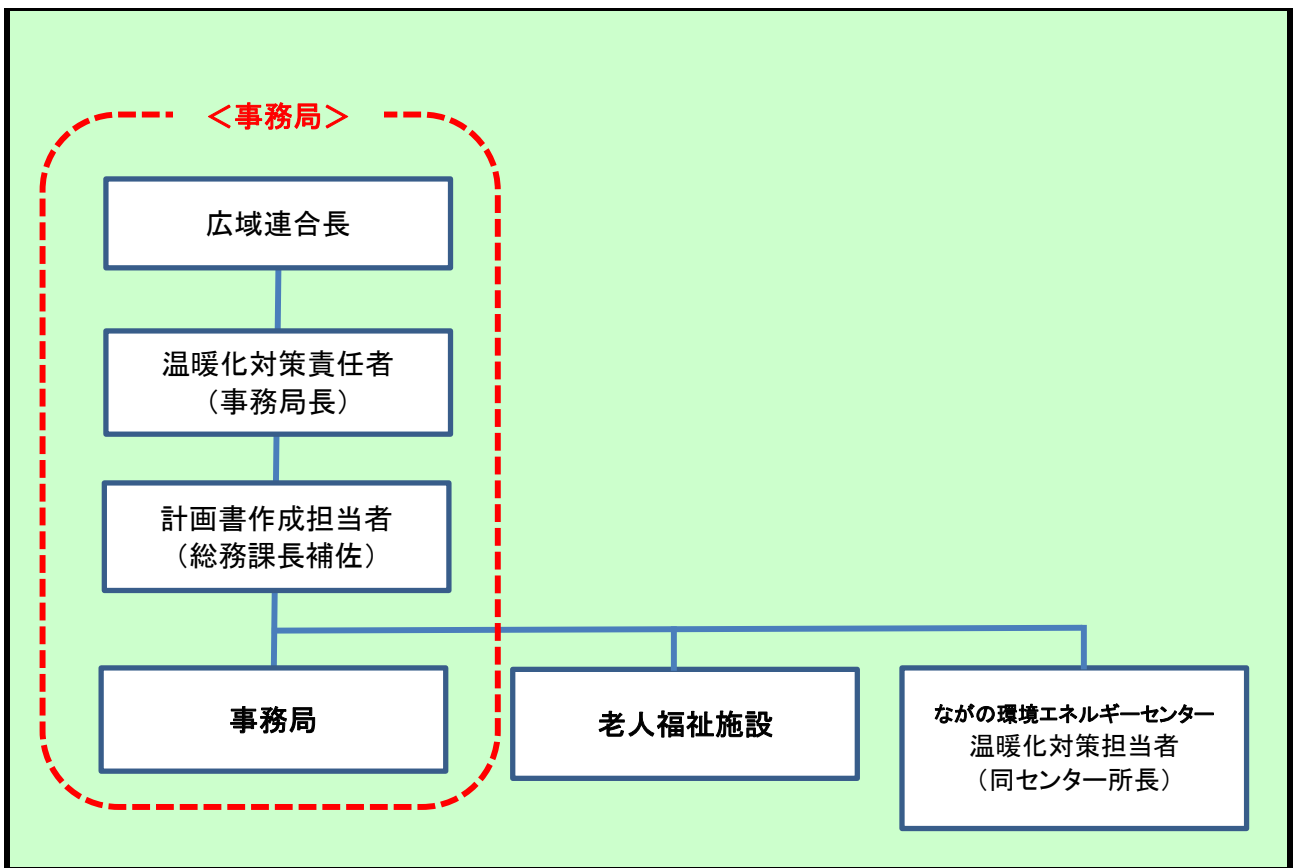
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	https://www.area-nagano.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

省エネルギー・省資源及びごみ焼却施設で処理するごみの減量により、温室効果ガスの発生を抑制する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー推進会議を年1回開催する。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,960	t-CO ₂	延床面積	26.90	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	3,299	t-CO ₂	基準原単位	147.21	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	4,500	t-CO ₂	目標原単位	125.72	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	-13.65	%	目標削減率	14.60	%	
目標設定に関する説明	<p>既存施設からの排出は、基準年度比で1%を削減目標とする。 また、計画期間内に新たに稼働する最終処分場（水処理施設886m²、排出見込50t-CO₂）・B焼却施設（管理棟及び工場棟11,790m²、排出見込量930t-CO₂）に係る純増分と、須坂荘・若槻デイサービスの移管等（延床面積2,898m²、排出見込量400t-CO₂）に伴う純減分とを見込んでいる。</p>						
第一年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延床面積		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	34,332	t-CO ₂	ごみ処理量	114.74	単位	千t
2019年度	調整後排出量	34,332	t-CO ₂	基準原単位	299.22	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量	37,798	t-CO ₂	目標原単位	296.98	t-CO ₂ /	千t
2022年度	目標削減率	-10.10	%	目標削減率	0.75	%	
目標設定に関する説明	2022年度から新ごみ焼却施設が稼働し、千曲市及び坂城町の一般廃棄物の処理を広域連合として開始するため、排出量が増加する。 なお、ごみに含まれるプラスチック類について、各市町村において分別・資源化を進めることで排出量原単位の削減を図る。						
第一年度	排出量		t-CO ₂	ごみ処理量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	ごみ処理量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	ごみ処理量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	74	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	150204	不要な場所の消灯	2020～ 2022	15		
2	エネ起	150302	省エネ型自動販売機の導入	2022	5		
3	エネ起	150303	複合機等低電力モードの設定	2020～ 2022	5		
4	エネ起	160202	ブラインド等の適正運用	2020～ 2022	5		
5	エネ起	130101	空調の設定温度の変更	2020～ 2022	10		
6	エネ起	130201	外気の適正利用	2021～ 2022	5		
7	エネ起	110102	温暖化対策研修会による啓発	2021～ 2022	5		
8	その他 ガス	その他	廃棄物の減量・分別の周知	2020～ 2022	100		
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	50	49.5			

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	9	3,960						
合計	9	3,960						

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	32,391			
CH ₄	2			
N ₂ O	1,939			
HFC	0			
PFC	0			
SF ₆	0			
NF ₃	0			
合計	34,332	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車	1			
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	1	0	0	0
自動車総数	48			
次世代車導入割合	2.1			

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	施設見学を通じて環境学習の場を提供している		2019

1.5 自由記載欄

ながの環境エネルギーセンターの活動は、県の「1村1自然エネルギープロジェクト」に登録されている。ごみ焼却を利用した高効率発電を行うとともに、隣接する長野市健康レジャー施設「サンマリンながの」への熱供給を行い、発電した電気の余剰分は、小売電気事業者を通じて、長野市内の小中高（80校）や本広域連合が運営する老人福祉施設へ供給されており、間接的に地域の温室効果ガス削減に寄与している。

また、施設見学を通じて環境学習の場を提供している。環境学習コーナーは、「長野から地球へ」をテーマに環境問題の解決に必要なグローバルな視点とローカルな視点を意識できる空間構成としている。
(2019年度来場者延べ8,657人)